

saveMLAK プロジェクト

# saveMLAK ニュースレター

2019年2月28日(木) (第58号)

## 赤塚昌俊さんのご逝去を悼み 心よりお悔やみ申し上げます

saveMLAK のファンド係として草創期よりご尽力  
いただいております赤塚昌俊さんが、かねてよりご  
病気で療養されておりましたところ、2019年1月13日  
(日)に永眠されました。

ご訃報に接し、saveMLAK プロジェクトメンバー一  
同、衷心より哀悼の意を表します。



写真1: 赤塚さん肖像 (Facebook のプロフィール写真  
より)

saveMLAK 創設以来、Museum の立場から関わっ  
てこられた赤塚昌俊さんが 2019年1月13日、肝臓  
がんのため逝去されました。saveMLAK ではファン  
ド係として8年近く、帳簿・ニュースレターへの報告書  
掲載・決算報告書作成・税理士との連絡調整などを  
受け持ってくださいました。これらの地味で大事な  
仕事に、ボランティア精神を発揮して貢献してくださ

いました。

わたしは同じファンド係でもふだんはまったくお  
会いすることがなく、メールでのやり取りだけで、一  
年に一度だけは会計監査報告の際に電話でお話しす  
る程度のことでした。しかしその電話でのお声を通じ  
て、誠実で温かなお人柄がうかがえました。残念でな  
りません。

赤塚昌俊さんは 1954 年熊本県に生まれ、東京都立  
大学に入学、その後埼玉県入間市にできた「美学校木  
彫刻工房・入間」に入校し、彫刻家としての道を歩み  
始めました。いま、わたしの手元にはつい先日赤塚さ  
んのご遺族から送られてきた小冊子『入間に美学校が  
あった』があります。一筆箋の添え書きには赤塚さん  
のサインと 2018.12.6 という日付が入っています。赤  
塚さんをご自分で送るつもりだったのでしょけれど、  
それはかなわず、ご逝去後にエル・ライブラリー  
に届きました。

その冊子には赤塚さんの作品を見ることができる  
場所の地図と作品の写真が載っています。赤塚さんと  
実際にお会いしたのはたった一度だけだったわたし  
は、いつかその作品に会いに行きたいと願っています。

赤塚さん、「いつかまた一献」という約束はわたしが  
そちらに行くまでお待ちくださいね。いまは安らかに  
お眠りください。ありがとうございました。

【谷合佳代子：saveMLAK ファンド係、エル・ライ  
ブラリー（大阪産業労働資料館）館長】

赤塚さんにはニュースレターに掲載するファン  
ド係関連の記事でお世話になりました。ほぼメールで  
のやりとりでしたが、読み返してみますと、自分が最初  
に担当した 2012年3月発行の第2号から、直近では  
2018年8月の第56号までの長い期間にわたり、各号  
ごとに会計報告や年度決算報告等をいただいております。  
自分にとってニュースレター編集の作業には、赤塚さん  
とのやりとりが付き物となっていました。突然の訃  
報を耳にして、驚きと寂しい気持ちを感じています。  
ご冥福をお祈りします。

【久戸瀬瑞季：岡山県立倉敷工業高等学校図書館】

赤塚さんの突然の訃報に驚いています。赤塚さんと

はニュースレターに掲載するファンド系の記事でいつも会計報告を頂戴しておりました。入稿時のチェックでも些細なミスに気づいていただいたり、レイアウトについてアドバイスをいただいたりしていました。お忙しいところ対応していただき、長い間本当にありがとうございました。ご冥福をお祈りします。

【富澤 美典：saveMLAK ニュースレター担当】

ご訃報に接し、あらためてこれまでの継続的、安定的なご貢献が saveMLAK にもたらしてくださったものの大きさを感じております。深く感謝申し上げますとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

【北岡タマ子：お茶の水女子大学】

「MLAK くん、人気者ですね。同じ『モノ』をつくる者として気持ちがわかります。」赤塚さん、いつも優しい言葉をかけてくださり、ありがとうございました。赤塚さんの言葉を胸に、これからもモノづくりをしていきたいと思っております。ご冥福をお祈りします。

【渡辺ゆきの：kumori】



写真 2：『人間に美学校があった』書影



写真 3：赤塚さんの主な作品一覧（『入間に美学校があった』より）

赤塚さんのご生前のご功績に感謝いたしますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 名取市図書館が開館しました

名取市図書館（宮城県）の新館が、2018年12月19日（水）より名取駅前再開発事業地内の JR 名取駅前北棟内に開館しました。

名取市図書館の旧館は東日本大震災で大きな被害を受けて代替施設によるサービスを行っていましたが、新館の開館準備のため2018年8月31日（金）をもって図書室でのサービスを終了していました。



写真 4：名取市図書館 2018 年 12 月 19 日開館（撮影：江草由佳 12 月 20 日）

## 2018年12月～2019年2月の 出来事と今後の予定

2018年12月18日(火)

-第94回 saveMLAK MeetUp を実施 複数拠点(東京、大阪)をつないで開催した。

2018年12月20日(木)

-名取市図書館開館イベントの記念講演に神代浩氏が登壇。江草由佳、高久雅生が参加。

2019年1月21日(月)

-第95回 saveMLAK MeetUp を実施 複数拠点(東京、大阪ほか)をつないで開催した。

2019年2月18日(月)

-第96回 saveMLAK MeetUp を実施 複数拠点(東京、大阪)をつないで開催した。

2019年3月22日(金)

-第97回 saveMLAK MeetUp を実施予定。

2019年4月24日(水)

-第98回 saveMLAK MeetUp を実施予定。

## saveMLAK 会計 2018年11月～2019年2月期 会計報告(合算)

<収入>

- |                        |         |
|------------------------|---------|
| ・受取寄付金(個人)             | +10,000 |
| ・受取寄付金(懇親会有志) およびグッズ売上 | +15,797 |
| ・グッズ売上                 | +14,500 |

<支出>

- |        |         |
|--------|---------|
| ・通信費   | -45,188 |
| ・振込手数料 | -216    |

2月末現在 残高 713,867円(10月末比 -5,107円)

【ファンド係：糸野泰輔】

## 編集後記

私は昨年11月の前号で初めてニュースレターの編集を担当し、赤塚様の後任としてファンド係を務める旨を報告いたしました。そのときには、引き続き担当した今号で赤塚様のご訃報をご報告することになるとは思いもよりませんでした。

saveMLAKに関わって日の浅い私は赤塚様と直接お会いしたことがなく、篤実なお人柄や精力的なご活動、丁寧なお仕事振りを伝え聞くばかりでした。赤塚様よりファンド係を引き継ぐことになった際にご連絡したのですが、とても喜んでくださったのを覚えています。ご体調が優れない状況にあって、後任者ができたことに安堵し引き継ぎにお心を砕いてくださるお姿に、誠実さや責任感の強さが感じられました。

このような理由で、赤塚様とお会いする機会を楽しみにしていました。いつか直接お話ができるものと何の根拠もなく信じ切っていたのです。悲報に接して1ヶ月が過ぎた今も、悲しみか、寂しさか、後悔か、纏まった言葉にできない喪失感に襲われています。ましてご家族の方々や saveMLAK メンバーの皆様のご心痛はいかばかりか、察するに余りあります。

今号のニュースレターに掲載するために、追悼文や写真をメンバーの皆様よりお寄せいただきました。お一人お一人のご弔意に触れ、ついに拝見することが叶わなかった赤塚様の笑顔を見て、あらためて胸を締め付けられる思いでした。読者の皆様にとってこのニュースレターが、赤塚様について知り、あるいは思い返すすすがの一つになれば幸甚に存じます。

末筆ながら、赤塚様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

【編集担当：谷口由佳】

編集発行：saveMLAK プロジェクト

発行日：2019年2月28日(木)(第58号)

発行所：神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル

さくら WORKS<関内>407

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail：pr@savemlak.jp

URL：https://savemlak.jp/

